

Enterprise Architect 14.1 機能一覧

本資料には、Enterprise Architectの機能一覧・対応エディションを記載しています。

[各エディションの概要はこちらをご覧ください。](#)

＜エディションの欄の記号について＞

○: 対応しています

△: 注意事項あり (別売りのアドイン・製品を購入する必要があるなど)

×: 対応していません

＜エディションの略称＞

プ: Enterprise Architectプロフェッショナル版

コ: Enterprise Architectコーポレート版

ユ: Enterprise Architect ユニファイド版


ア: Enterprise Architect アルティメット版


モデリング		エディション				利用のために必要な情報
		プ	コ	ユ	ア	
記述できるモデルの種類						
UML	UML2.5	○	○	○	○	
状態遷移表	状態遷移表	○	○	○	○	
ICONIX	ロバストネス図	○	○	○	○	
データフロー図	データフロー図 (DFD)	○	○	○	○	
Webモデリング	XMLスキーマ	○	○	○	○	
	Webモデル	○	○	○	○	
	WSDLモデル	○	○	○	○	
BPMN	BPMN1.0・BPMN1.1・BPMN2.0	○	○	○	○	
フローチャート図	フローチャート	○	○	○	○	
	産能大式フローチャート	○	○	○	○	
ソフトウェアプロセス	SPEM 2.0	○	○	○	○	
	プロセスフロー図 (PFD)	○	○	○	○	
ガントチャート	ガントチャート	○	○	○	○	
戦略モデリング	バランススコアカード・戦略マップ・バリューチェーン・デシジョンツリー・組織図	○	○	○	○	
システム設計	SysML 1.1・1.2・1.3・1.4/1.5	×	○	○	○	
ビジネスモデリング	ビジネスルール	×	×	○	○	
画面設計	汎用 画面設計図	○	○	○	○	
	Win32画面設計図	×	○	○	○	
	ワイヤーフレーム (Android, iOSなどの画面)	○	○	○	○	
その他	ホワイトボード	○	○	○	○	
	構造図 (Structure Chart)	○	○	○	○	
	実体関連図 (ピーター・チェンの記法)	×	○	○	○	
	エリクソン・ペンカー図	○	○	○	○	
	デシジョンテーブル	×	×	○	○	
	フォルトツリー図 (FTA)	○	○	○	○	
	AML (Archetype Modeling Language)	○	○	○	○	
	Archimate 1.0~3.0	○	○	○	○	
	ArcGIS	○	○	○	○	

BABOK 3.0	×	○	○	○	
BIZBOK	×	○	○	○	
CMMN	×	○	○	○	
DDS (Data Distribution Service)	×	×	○	○	
DMN (Decision Modeling Notation) 1.1	×	○	○	○	
GML 3.3	○	○	○	○	
GRA-UML	○	○	○	○	
GSN (Goal Structure Notation)	○	○	○	○	Webサイトからダウンロードしてインストールが必要
NIEM	○	○	○	○	
ODM (Ontology Definition Metamodel)	○	○	○	○	
SCDL (Safety Concept Description Language)	○	○	○	○	Webサイトからダウンロードしてインストールが必要
SMIF	×	○	○	○	
SoaML	×	○	○	○	
SOMF 2.1	○	○	○	○	
TOGAF	×	×	○	○	
UAF (Unified Architecture Framework)	×	×	○	○	
UBL 2.1	○	○	○	○	
UMM	○	○	○	○	
UPCC 2.0/3.0	○	○	○	○	
UPDM (DoDAF/MODAF) 2.0	×	×	○	○	
USDM	○	○	○	○	Webサイトからダウンロードしてインストールが必要
Zachman Framework	×	×	○	○	
モデリング時の便利な操作・機能	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
クイックリンク・ショートカットキーによる容易な操作	○	○	○	○	
自動レイアウト	○	○	○	○	
条件を指定してダイアグラム内の要素をフィルタ表示	○	○	○	○	
トレーサビリティの定義と参照 (関係マトリックス・トレーサビリティサブウィンドウ)	○	○	○	○	
状態マシン図と状態遷移表の相互変換	○	○	○	○	
ユースケースシナリオからアクティビティ図・シーケンス図などの自動生成	○	○	○	○	
既存のUMLプロファイルの利用	○	○	○	○	
既存のUMLパターンの利用	○	○	○	○	
モデル内検索	○	○	○	○	
ギャップ分析マトリックス	×	○	○	○	
チャート要素の利用	○	○	○	○	
カンバン	○	○	○	○	
要素ごとの掲示板 (ディスカッション)	×	○	○	○	

レビュー支援		×	○	○	○		
外部ファイルとモデルをリンク		○	○	○	○		
外部ファイルをモデル内に埋め込み		○	○	○	○		
モデル評価		○	○	○	○		
さまざまな機能							
チーム開発		プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報	
モデルの共有	モデルのバージョン管理	○	○	○	○		
	プロジェクトファイル(.EAP/EAPX)の共有 (同じモデルに対する複数人数での同時編集)	○	○	○	○		
	モデルをデータベースシステム(SQLServer・Oracleなど)に保存/同時編集	×	○	○	○		
	モデルの編集の排他管理(ロック)	×	○	○	○		
	機能やモデルへのアクセス制限・管理(アクセス権)	×	○	○	○		
	モデルの監査(操作内容をログとして記録)	×	○	○	○		
	モデルの差分比較・マージ	○	○	○	○		
	ダイアグラム上で視覚的に差分比較・マージ	×	○	○	○		
	クラウドサーバの利用	△	○	○	○	プロフェッショナル版は、FEAP形式のクラウドサーバのみ接続可能	
	可視レベル機能による、モデルの表示制限	×	○	○	○		
	可視レベル機能の設定	×	×	×	○		
	モデルの入出力	XMI1.0～2.5.1形式でのモデルの読み込みと出力	○	○	○	○	
CSV形式の読み込みと出力		○	○	○	○		
ECore		○	○	○	○		
BPMN 2.0 XML		○	○	○	○		
XPDL 2.2		○	○	○	○		
ArcGIS		○	○	○	○		
EMX形式・UML2形式の読み込み		○	○	○	○		
MagicDrawファイル(MDZIP)の読み込み		○	○	○	○		
Rhapsodyファイル(.rpy)の読み込み		○	○	○	○		
ドキュメント生成		プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報	
ドキュメント生成(DOCX, PDF, RTF, HTML形式)		○	○	○	○		
図の内容を他のアプリケーション(Wordなど)に画像として貼り付け		○	○	○	○		
図の内容をPDF形式で出力		○	○	○	○		
個別の要素にドキュメントを保持(付属ドキュメント)		○	○	○	○		
さまざまな形式についての生成・読み込み		プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報	
UML	C・C++・Java・C#・VB.NET	クラス要素→ソースコード	○	○	○	○	
		ソースコード→クラス要素	○	○	○	○	
		ステートマシン図・アクティビティ図・シーケンス図→ソースコード	×	×	○	○	
	VisualBasic・Delphi・PHP・Python・ActionScript	クラス要素→ソースコード	○	○	○	○	
		ソースコード→クラス要素	○	○	○	○	

	JARファイル	JARファイル→クラス要素	○	○	○	○	
	.NETアセンブリ	.NETアセンブリ→クラス要素	○	○	○	○	
データベース	データベースモデリング図からDDLの生成 (DB2・InterBase・Informix・Ingres・MS Access・MySQL・MS SQL Server・SQLite・Oracle・PostgreSQL・Sybase ASE・ASA・Firebird)		○	○	○	○	
	ODBC経由での既存のデータベーススキーマの読み込み		○	○	○	○	
	データベースビルダー		×	○	○	○	
	既存のデータベースとの差分比較とマージ		×	○	○	○	
Web	XMLスキーマからXSDの生成・既存のXSDファイルの読み込み		○	○	○	○	
	WSDLの生成と読み込み		○	○	○	○	
スキーマコンポージャー	CIMやNIEMなどのメッセージスキーマ・JSONスキーマの生成		×	○	○	○	
ビジネスモデリング	BPMNモデルからBPEL生成		×	×	○	○	
	ビジネスルールから実装を含むソースコード生成		×	×	○	○	
DMN	DMNで定義された内容をソースコード生成		×	×	○	○	
シーケンス図自動生成			プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
デバッグ版を動作させて、シーケンス図の自動生成			○	○	○	○	
外部のLinux環境で動作した結果から、シーケンスの自動生成			×	×	○	○	
テスト関連			プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
ユースケースシナリオからテスト項目の自動生成			○	○	○	○	
JUnit/nUnitとの連携 (モデル変換機能を利用)			○	○	○	○	
デバッグ			プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
Enterprise Architect内部でデバッグ			○	○	○	○	
ビルド・実行・テストの定義と実行			○	○	○	○	
XSLTのデバッグ			○	○	○	○	
シミュレーション			プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
モデルシミュレーション (ステートマシン図・アクティビティ図・シーケンス図)			×	○	○	○	
外部実行の状態マシン機能 (状態マシンからC++やJavaなどのコードを生成し、シミュレーションを実行)			×	×	○	○	
DMN 1.1で定義した分岐処理を含むシミュレーション			×	×	○	○	
BPMN 2.0モデルのシミュレーション			×	×	○	○	
SysML パラメトリック図の簡易シミュレーション			×	×	○	○	
SysML OpenModelicaとの連携シミュレーション			×	×	○	○	
モデルに関連する情報			プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
ユースケースシナリオ			○	○	○	○	
ユースケースポイントによるプロジェクトの工数見積もり			○	○	○	○	
要素ごとにテスト項目・変更点・問題点・バグ・ToDoの登録			○	○	○	○	
要素ごとにタスクの割り当てと進捗情報登録			○	○	○	○	
プロジェクトの問題点の登録			○	○	○	○	
プロジェクトの用語集の登録			○	○	○	○	

用語集の用語の自動認識	○	○	○	○	
チームライブラリ (掲示板やファイル共有)	○	○	○	○	
他のプロジェクトのチームライブラリ参照	×	○	○	○	
ベースライン	×	○	○	○	
スケジュール管理 (プロジェクトのカレンダー機能・プロジェクトのタスクの管理)	×	○	○	○	
モデル変換	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
モデル変換 (C#・DDL・EJB・Java・WSDL・XSD)	○	○	○	○	
カスタマイズ・機能拡張					
ユーザーインターフェース	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
ユーザーインターフェースのカスタマイズ (サブウィンドウ・リボン・ショートカットキー・ツールボックス)	○	○	○	○	
検索ルール	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
検索ルールのカスタマイズ	○	○	○	○	
生成・変換ルール	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
ドキュメント生成テンプレート(ルール)のカスタマイズ	○	○	○	○	
ソースコード生成テンプレート(ルール)のカスタマイズ	○	○	○	○	
モデル変換ルールのカスタマイズ	○	○	○	○	
モデルの表現	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
UMLプロファイルの作成	○	○	○	○	
パターンの作成	○	○	○	○	
要素の外見の定義 (描画スクリプト)	○	○	○	○	
カスタマイズした情報の管理	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
独自定義のモデルや設定(MDGテクノロジー)の利用	○	○	○	○	
独自定義のモデルや設定(MDGテクノロジー)の作成	○	○	○	○	
機能拡張	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
APIを利用したアドイン・アプリケーションの作成による独自の機能追加	○	○	○	○	
スクリプトによる機能追加	×	○	○	○	
アドイン作成による評価機能強化	○	○	○	○	
他ツールとの連携					
Enterprise Architectと連携するツール名	プ	コ	ユ	ア	利用のために必要な情報
要求管理ツールRaQuest	△	△	△	△	要求管理ツールRaQuest 
Trac	△	△	△	△	Enterprise Architect-Trac 連携アドイン
Redmine	△	△	△	△	Enterprise Architect-Redmine 連携アドイン

DOORS	△	△	△	○	MDG Link for DOORS 
Microsoft Office連携	△	△	△	○	MDG Integration for Microsoft Office (日本語版は未発売です)